

## 奥多摩 シダクラ沢沢登り山行報告書

(山域) 奥多摩 シダクラ沢

(コース) 奥多摩湖(駐車場)～シダクラ橋～入渓～二股～大ブナ尾根稜線～奥多摩湖(駐車場)

(日時) 8月22日(土曜日)

(天候) 曇り時々晴れ

(参加者) CL:内堀(記録)・小宮山

(山行タイム) 奥多摩湖(駐車場) 7:30～シダクラ橋 8:00～入渓 8:20～二股 10:30～  
大ブナ尾根稜線 12:00～奥多摩湖(駐車場) 13:50

(山行報告)

自宅を4:00前に出て、小宮山宅で同乗し湾岸線・首都高を抜け中央道手前の八王子ICで降りて、下の道で奥多摩湖を目指す。途中コンビニに寄るのを忘れて、駐車場に着いた時には時すでに遅し、自宅から持って来た行動食とお茶のペットボトルをザックに入れ、出発する。

奥多摩湖より国道を奥多摩方面に向かい、トンネルを3個程度過ぎたあたりで、昔の道に降りる場所を発見して、下降する。橋を目印に歩くとシダクラ橋(吊橋)を発見して渡る。一度に5人までの制約条件が表示されていた。慎重に渡ると明瞭な沢に落ちる道が発見し、直ぐそこは入渓点であった。恐ろしく早く楽チンである事は間違いない。ここで、沢の準備に掛る。オット入山連絡を忘れ慌ててメールにて入山連絡を入れた。ギリギリセーフでした。

いきなり4mの滝が現れ中央から登りシャワークライミングとなる。後ろで小宮山さんは楽しそうに登って来た。その先は4mのナメ滝が現れ、上が堰堤となり左側から越える。

その先も小滝をいくつも越え、大半が中央から登り、水を浴びながらの滝登りとなった。

後ろではハマリそうな声を上げており、少しでも巻くようであれば中央突破を要求される。

ガイドには仕事道を超えると有るが、見過ごしてしまう。その先は、この沢最大の2段6mの滝が現れる。岩がヌメヌメして滑り易いので慎重に登る。小宮山さんも問題もなく登って来た。



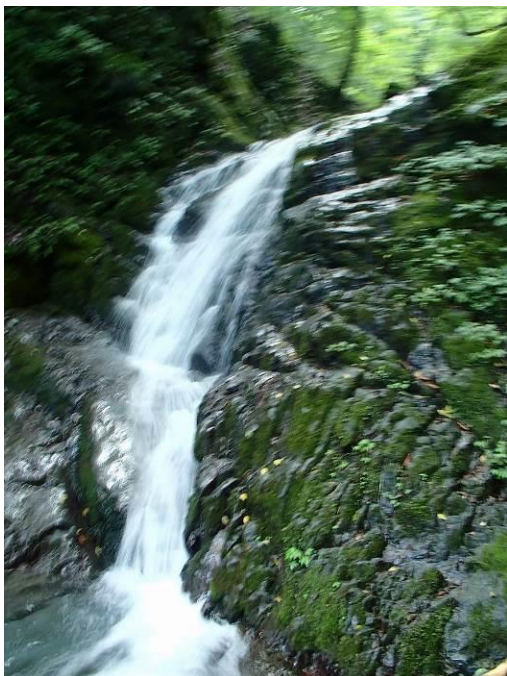
途中より倒木が多くなり、綺麗な沢が残念である。その先も小滝とナメが適度に表れ楽しい。途中、左から来る涸沢の分岐で休憩を取る。休憩後、左側の良さそうな急斜面を見つけ、木にロープを張り、小宮山さんは沢登り発デビューのため、懸垂下降2回とロープマンを使用して使い方を練習した。練習も終わり出発して直ぐに3mハングの滝が現れるがここも無事通過、歩き続けると右側に大岩が表れてくる。その先は4mの滝が2個あり通過すると二股が出現する。

ここを右側に進むといきなり水は消えてしまう。下側から出ているようであるが上には水が無くなり、いきなり無くなりちよっぴり淋しい気持ちとなる。ここより、詰めに入るがいきなり急登で左側の坐骨が痛み出し、力が入らない。ズルズル滑る。力を入れながら急登を上り尾根沿いに進むと少し斜度が緩くなる。途中、若干斜度の強い所もあったが、無事稜線(1128m付近)に辿りつく。ホッとした。今日は坐骨も痛く息が切れてしまった。小宮山さんは平気であった。



沢の道具を片付け軽い昼食をする。終了後は下山して奥多摩湖が見えるビューポイント（鉄塔有）で記念撮影を済ませ、更に下山すると奥多摩湖の小河内ダムに出る。ここに来ると観光客が沢山ダムを渡っていた。更にその先が、駐車場である。バス停は水根であった。前に来た水根沢のバス停であった事を思い出した。車を飛ばしもえぎの湯にて汗を流す。この時間帯は多くなく直ぐ入浴出来た。その後は、ナビに従い帰葉した。

この時期としては珍しく比較的涼しく、また、推量も少なく綺麗な沢に出会った事が良かった。日帰りの沢登りとしては、入渓が早く、詰も短く、下山も早く理想的な場所であった。



以上